

# まほろん

Shirakawa since 2007



通信

まほろん実技講座  
ラインナップ発表!

【福島県内施設紹介】  
にほんまつ城報館

シリーズ最終回  
まほろんおしごと紹介  
Part4 保存科学



まほろんでは新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に取り組んでいます。特に体験活動については、職員との接触や近距離での活動を控えております。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



! NEW !

# 「まほろん実技講座 ラインナップ」

LOOK BACK ON 2022 &  
LINEUP ON 2023

昨年の実技講座をふりかえりつつ、  
今年の実技講座をご紹介します。

文：佐藤璃子（学芸員）



昨年度の実技講座の様子

まほろんでは、收藏する出土品等を基  
に原始・古代のモノづくりに関する学  
習を目的として、受講者を事前に募集  
して「実技講座」を開催しています。

## ラインナップ 2023 (令和5年)

令和5年度は7つの講座を予定  
しています。

「おおほりそうまやき大堀相馬焼に挑戦」では浪江町に  
伝わる伝統工芸品のなみえまち大堀相馬焼をつくりま  
す。まほろんでは、令和2年度から大堀相馬焼のかまもと窯元・い  
かりや窯さんを講師に迎えて講座を開催しています。  
今回は電動ろくろを用いてつくっていきます。

「U-15 実技講座」は昨年度に続き、子どもたち  
を対象に当館收藏の土器や土偶をモデルに、実際に  
つくる体験学習講座です。それぞれ2回開催します。

「土師器づくり」は上級者向けの体験講座です。  
土師器とは古墳時代から平安時代まで使われた土器  
です。実際にまほろん收藏の土師器を観察し、参考  
にしながらつくっていきます。

「編みかごづくり」は、かわまたまち川俣町のまえだ前田遺跡から出  
土した縄文時代の編みかごをモデルとし、どのよう  
な技術を用いて作られていたのか学びながらつくっ  
ていきます。

Web 配信の「おうちでできる土器づくり・勾玉  
づくり」は通年開催の講座です。それぞれ、まほろ  
んでキットを購入した後は、ご自宅で動画をみなが  
らつくってもらいます。土器は製作後にまほろんへ  
持ってきて焼成後にお渡し、完成となります。（お  
渡しまで一週間ほどかかります。）

**ふりかえる  
2022  
(令和4年)** アンダー 令和4年度は、企画展「U-15  
の考古学」に合わせた「U-15 実  
技講座」といった子ども向けの講  
座をはじめ、全6講座を開催しました。なかでも「お  
うちでできる土器づくり（web 配信）」はまほろん  
で粘土を購入し、ご自宅で動画を見ながら作成でき  
る手軽さから、多くの申込がありました。久しぶり  
の実施となった「はしき土師器づくり」では、まほろん收  
蔵の古墳時代の土師器をモデルに作成しました。作  
成した土器は乾燥後に野焼きを行いました！

## 実技講座 ラインナップ

おうちでできる土器づくり	通年（Web 配信）
おうちでできる勾玉づくり	通年（Web 配信）
大堀相馬焼に挑戦（全2工程）	①ろくろ 5/28（日） ②手びねり・墨入れ 6/25（日）
U-15 実技講座 土器づくり （2回開催）	7/22（土）・7/23（日）
U-15 実技講座 土偶づくり （2回開催）	8/19（土）・8/20（日）
編みかごづくり	10/9（月・祝）
土師器づくり（全2工程）	①成形 1/27（土）～2/1（木） ②野焼き 3/10（日）

まほろん実技講座の募集など詳細につきましては、当館ホームペ  
ージや館内掲示にてお知らせします。申し込み受付は開催のおよ  
そひと月前からとなります。

## 表紙の1枚

今年3月に行った野焼きの様子です。実技講座「土師  
器づくり」で作った土器を焼きました。職員は炎の熱さ  
と戦いつつ薪をくべ、参加者のみなさんも炎を見ながら  
土器が焼ける様子を熱心に観察していました。

## 編集後記

春といえば新生活のはじまる季節。体験広  
場内の生命力あふれる植物たちが芽吹いて  
います。まほろんにご来館の際は、館内だ  
けでなく外の展示へもお散歩がたら足を延  
ばしてみたいかがでしょうか？

# 福島県内施設紹介 にほんまつ城報館

県内にて新規オープンした施設のご紹介をします。今回は二本松市にできた「にほんまつ城報館」です。

取材先：吉田陽一氏（二本松市教育委員会）  
聞き手：青木愛子（学芸員）



にほんまつ城報館 外観

にほんまつ城報館は二本松市の隣に昨年4月にオープンしました。二本松市教育委員会文化課の吉田陽一さんに、施設の概要、見どころ、今後のイベント等についてお聞きしました。

●施設設置のコンセプトについてお教えてください。

吉田：二本松市の歴史・文化と観光の情報発信の拠点施設とし



二本松城（霞が城）



展示室内部



プロジェクションマッピングを利用したコーナー

て、令和4年4月、史跡二本松城跡の麓に二本松市歴史観光施設「にほんまつ城報館」が開館しました。施設の1階には「二本松歴史館」が、2階には「にほんまつ観光情報館」が入っております。

●「にほんまつ城報館」のネーミング理由は何でしょうか？

吉田：施設の愛称は一般公募で決まりました。二本松城と二本松の歴史観光の情報を組み合わせた造語で、広く「じようほうかん」と呼ばれ親しまれております。

●展示内容を教えてください。

吉田：二本松歴史館は、史跡二本松城跡に関する展示のほか、考古、民俗、人物などに関する展示を行って、二本松の歴史の魅力を発信しております。

まず、二本松城に関するものとして、大型マルチビジョンで二本松城の石垣や美しい四季の風景などを紹介する「二本松城ガイドンス室」があります。ここで二本松城の概要をご覧いただき、「常設展示室（第1展示室）」へ進んでいただきます。常設展示では二本松城の誕生から終焉までの歴史を、①土づくりの城、②石づくりの城、③天下統一と丹羽家、④城と城下町、⑤城の終焉の5つのテーマで紹介しております。常設展示以外では、にほんまつ城報館の建設にあたり実施した施設敷地の発掘調査で出土した家老屋敷の遺構や遺物などを展示する「発掘ギャラリー」があります。

このほか、二本松の提灯祭りの太鼓台を展示する「お祭りコーナー」や、様々な歴史テーマの展示を行う「企画展示室」第



発掘ギャラリー

二展示室）があります。

●来館者に見てもらいたいポイントはどこですか？

吉田：常設展示では、アニメーションやプロジェクションマッピングを活用し、興味をもって見ていただく展示解説も行っております。丹羽公による城下町整備の変遷を、二本松の街のジオラマとプロジェクションマッピングでダイナミックに解説するコーナーは、とても分かりやすいと好評です。

●今後のイベント、企画を教えてください。

吉田：今後も二本松城跡の調査・研究を進めてその成果を公開し、また二本松の歴史に関する考古や民俗、人物などのテーマで企画展を開催していきます。今年4月には開館1周年の記念事業として「二本松の戊辰戦争」をテーマに、二本松少年隊の解説を交えて二本松における

## Information

住所：福島県二本松市郭内三丁目303番地5

電話：0243-22-3220

開館時間：9時～17時（最終入館16:30）

休館日：月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始

入館料：常設展示室 一般 200（150）円

高校生以下 100（50）円

企画展示室 別途必要 ※（）内は20名以上の団体料金



戊辰戦争の意味を考察する企画展を予定しております。また令和5年が、二本松が生んだ世界的歴史学者朝河貫一博士の生誕150年にあたることから、朝河博士顕彰の記念企画展も予定しております。

●ありがとうございました。読者のかたもお近くへお越しの際はぜひお立ち寄り下さい。

朝河貫一（1873～1948）… 福島県二本松市出身。日本人初のイエール大学教授。太平洋戦争を回避すべく日米間で奔走した歴史学者。





まほろん博士

「まほろん」ではたらく人々がどんなお仕事を  
しているか、実際にきいてみようという  
シリーズ、ついに最終回じゃ。

まほろんが大好きな小学6年生のロンくん  
が質問するぞ。今回は保存科学担当の学芸  
員に話をきいてみただ。

シリーズ最終回！？かなしいなあ…。  
保存科学ってどんなことをするんだろう？



ロンくん (小6)  
白河市に住む。  
まほろんと歴史が  
大好き。

取材先：勝川若奈 (学芸員)  
岸浪文香 (学芸員)  
質問者：ロンくん

**要チェック!** 保存科学専門の学芸員は福島県内の博物館でも数少ない、貴重な存在です。

### Q1 どんな仕事をしていますか？

土の中から発掘された文化財の保存処理を行って  
います。発掘された文化財は非常に脆いものも多く、  
そのまま放置すると朽ちてしまうものもあります。  
それらを保存するための手助けを行うことが保存処  
理です。まほろんでは金属製品や木製品を中心に保  
存処理を行っています。また、収蔵庫や展示室が文  
化財にとって良い環境となるよう調査を行ったりし  
ています。



煙管のクリーニング中

文化財をより良い状態で未来に残すためのお仕事だと思っ  
ていただける  
といいかもしれません。

### Q2 仕事をしていた大変なところ、楽しいところは？



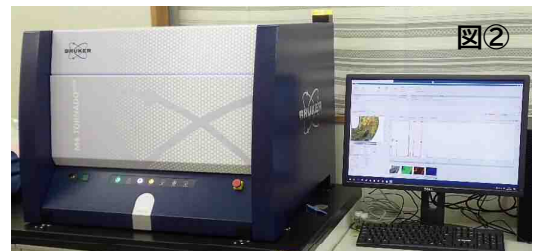
↑木製品が含んで  
いる水分を薬品に  
置き換え、形状を  
保つ作業中。

文化財は色々な素材でできていて、それ  
ぞれ状態が違います。そのため、文化  
財が何でできていてどのような状態な  
のか調べたり、どのような方法で保存処  
理を行うか検討するなど、すべきことが  
たくさんあるので大変です。また、文化財  
は地域の皆さんの大切な財産なので、  
それをお預かりしているという緊張感  
は常に持っています。

お仕事は全て楽しいです！たくさんの  
文化財との出会いを通して、自分も歴史  
の一部であることや歴史を未来へ引き継  
いでいく役割を担っているということ  
を認識できるのでワクワクします。

### Q3 保存処理した後の文化財を見る時、どんなところに注目してほしいですか？

その文化財が作られて  
から保存処理を経て展示  
されるまで、どのような  
歴史を歩んできたのか想像しながら見て  
みると面白いのではないのでしょうか。



蛍光X線分析装置…材質分析 (なにでできているのか調べる)

**※保存処理とは？**  
色々な材料や技術を使って、文化財の形を  
保つ処理や状態の悪化を防ぐ処理のこと。  
発掘されたときの形状を保つことや資料と  
しての価値を損なわないことなど、いくつ  
かの原理原則のもと保存処理を行います。

**※保存科学とは？**  
文化財の調査や保存を行うために自然科学  
的手法を応用する研究分野です。文化財が  
何でできているか調べたり、保存処理に使  
う材料や技術の研究を行ったりします。

処理中の田下駄↑  
常設展示室に、ほか  
にも保存処理された  
田下駄があるぞ

### まほろんの主な今後の予定

※各講座・講演会は事前申込制です。  
※予定が変更となる場合があります。詳しくはお問い合わせ頂るか、まほろんのホームページをご覧ください。

～5/7 (日) 企画展 「古代ふくしまの開発一矢吹が原を中心に」 6/3 (土) ～8/20 (日) 「ものづくりに学ぶ -U(アンダー)15の考古学-」 5/28 (日)・6/25 (日) 大堀相馬焼に挑戦 (全2回) 6/3 (土) 第1回館長講演会	6/4 (日) ～ まほろん森の塾 (全5回) 7/9 (日) 館長の子ども考古学教室 (午前・午後) 7/22 (土)・23 (日) 実技講座「U-15 土器づくり」 ☆実技講座 (WEB 配信) 「おうちでできる土器づくり」 「おうちでできる勾玉づくり」
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

随時更新中!

### まほろん公式SNS

フォロー&チャンネル登録  
お待ちしております!

INSTA YOU  
GRAM TUBE